

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 7 月 30 日 (2015.7.30)

【公表番号】特表 2014-528655 (P2014-528655A)

【公表日】平成 26 年 10 月 27 日 (2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報 2014-059

【出願番号】特願 2014-535713 (P2014-535713)

【国際特許分類】

H 0 1 L 33/50 (2010.01)

H 0 1 L 33/58 (2010.01)

H 0 1 L 33/60 (2010.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 4 1 0

H 0 1 L 33/00 4 3 0

H 0 1 L 33/00 4 3 2

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 11 日 (2015.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遠隔蛍光体式 L E D 装置に使用するためのレンズ組立体であって、

外部表面及び内部表面を有するレンズ部材であり、前記外部表面は、前記内部表面と交差する光軸を規定するように湾曲している、レンズ部材と、

前記外部表面の少なくとも一部に取り付けられ、前記内部表面に隣接した基準面内の所与の光源点から発した L E D 光を前記基準面内の所与の像点へと反射するように構成される二色性反射体と、

前記内部表面の少なくとも一部に取り付けられ、蛍光体光を放射するように適合されている蛍光体層と、

を含み、

前記二色性反射体は、前記蛍光体光を透過させるように適合され、

(a) 前記蛍光体層は、前記内部表面の 1 つ以上の第 1 部分を被覆し前記内部表面の 1 つ以上の第 2 部分を露出させるようにパターン化され、前記所与の像点は、前記 1 つ以上の第 1 部分に隣接して配設され、前記所与の光源点は、前記 1 つ以上の第 2 部分に隣接して配設され、及び / 又は (b) 前記蛍光体層は、前記内部表面に取外し可能に付着される

、

レンズ組立体。

【請求項 2】

遠隔蛍光体式 L E D 装置の作製方法であって、

外部表面及び内部表面を有するレンズ部材を用意する工程であり、前記外部表面は、前記内部表面と交差する光軸を規定するように湾曲している、工程と、

前記外部表面の少なくとも一部に二色性反射体を取り付ける工程であり、前記二色性反射体は、前記内部表面に隣接した基準面内の所与の光源点から発した L E D 光を前記基準面内の所与の像点へと反射するように構成される、工程と、

前記内部表面の少なくとも一部に蛍光体層を取外し可能に付着させる工程であり、前記

蛍光体層は、前記内部表面の１つ以上の第１部分を被覆する１つ以上の第１部分、及び前記内部表面の１つ以上の第２部分を被覆する１つ以上の第２部分を含み、前記所与の像点は、前記内部表面の前記１つ以上の第１部分に隣接して配設され、前記所与の光源点は、前記内部表面の前記１つ以上の第２部分に隣接して配設される、工程と、

前記内部表面の前記１つ以上の第２部分を露出させるように前記蛍光体層をパターン化する工程と、

を含む、方法。